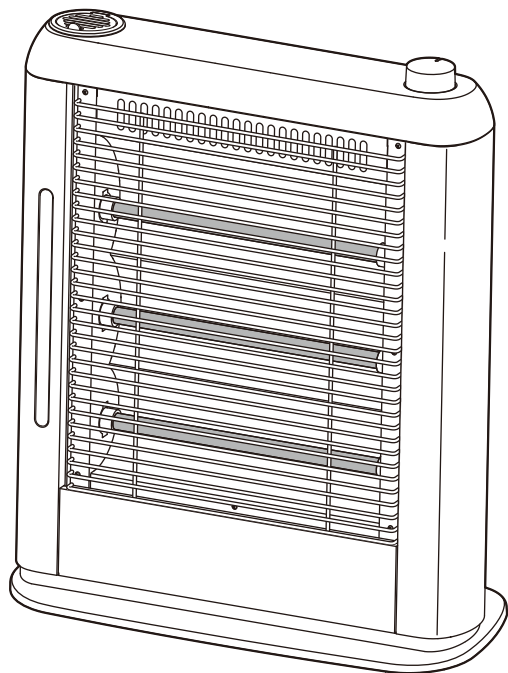


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

加湿機能付き(スチーム式) 遠赤外線 電気ストーブ DSE-KE101



もくじ

- 安全上の注意……………1～4
- 各部の名称……………5～6
- 設置について……………6
- 知っておいていただきたいこと……………6
- 使いかた
 - 電源プラグを家庭用コンセントに差し込む……………7
 - 運転する(ヒーター運転)……………7
 - 運転する(ヒーター+スチーム運転)……………8
 - 使用後は……………9
 - 安全装置について……………9
- お手入れと保管……………10～12
- 仕様……………13
- 故障かな?と思ったら……………13
- 点検のお願い……………14
- アフターサービスについて……………14
- 保証書……………裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社電気ストーブをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
- 使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
- 読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOKを
チェック!





随時情報を更新中!

安全上の注意


使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。


※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例









 ①記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

 ②記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

警告

■ 電源コード・電源プラグについて

 電源プラグは、根元まで確実に差し込む 指示に従う ●発熱・感電・火災の原因になります。	 家庭用コンセント (AC 100V、定格 15A以上) を単独で使用する 指示に従う ●家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用すると故障したり、延長コードやタコ足配線で定格を超えるとコンセントが異常発熱して、火災の原因になります。
 定期的に電源プラグのホコリをふき取る 指示に従う ●電源プラグにホコリがたまると、湿気により絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。 ◎電源プラグのホコリは、乾いたふきんでふき取る。	 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない 禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。
 破損、故障、異常があったり、電源コードや電源プラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する 指示に従う ●やけど・感電・火災の原因になります。 ※故障・異常例 14ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか？」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。	 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない 禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。 ◎使用するときには、必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。
 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く プラグを抜く ●感電・漏電火災の原因になります。	 電源コードの上に、重いものやベースをのせたり、挟み込まない 禁止 ●ショート・感電・火災の原因になります。

警告

■ 設置について

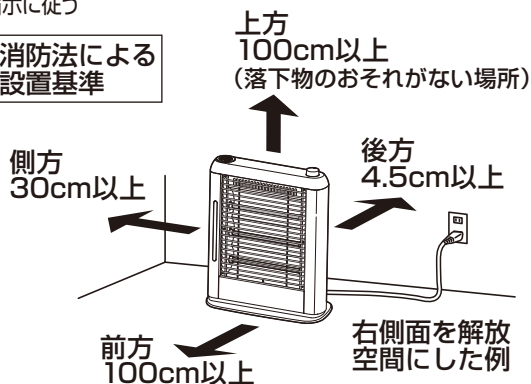


壁や家具から離して設置する

- 火災の原因になります。
- ◎下記の距離を離して設置する。

指示に従う

消防法による
設置基準



※左右側のどちらか一方は、壁や障害物で
囲まれていない開放空間にしてください。



周囲が囲まれた場所に設置しない

- 変形・やけど・火災の原因になります。

禁止



燃えやすいもの（布団、カーテン、 新聞紙など）や熱に弱いものが周辺 にある場所に設置したり、熱に弱い 床材や敷物の上に設置しない

- 変色・変形・火災の原因になります。

禁止



水ぬれ禁止

水や蒸気が本体にかかる場所、水に ぬれた場所、湿気が多い場所に設置 しない

- ショート・感電・火災の原因になります。



屋外に設置しない

- ショート・感電・火災の原因になります。

禁止



不安定な場所や毛足の長い敷物の 上に設置しない

- 落下や転倒して、やけど・火災の原因
になります。

◎安定した水平な場所に設置する。

禁止



本体の近くにスプレー缶（掃除用、 整髪用、殺虫剤など）を置かない

- 爆発・火災の原因になります。

禁止



電気製品や精密機器（パソコン など）の近くに設置しない

- 転倒するなどして水がこぼれると、
ショート・感電・火災の原因になります。

禁止



可燃性ガスや引火性のもの（ガソ リンやシンナーなど）がある場所に 設置しない

- 爆発・火災の原因になります。

禁止

■ 使用について



分解禁止

分解、修理、改造をしない

- やけど・感電・火災の原因になります。
- ※修理は、お買い上げの販売店に依頼
してください。



禁止

子供や取り扱いに不慣れな方だけで 使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、 保管しない

- けが・やけどの原因になります。



禁止

すき間や開口部に、金属物や異物 を入れない

- ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

ガードを外したまま使用しない

- やけど・火災の原因になります。



禁止

本体に衣類や布団などをかぶせて 使用しない

- 火災の原因になります。
- ◎暖房以外の用途で使用しない。









禁止

乾燥など他の用途に使用しない





- 火災の原因になります。
- ◎暖房以外の用途で使用しない。

警告

■ 使用について つづき

 <p>長時間同じ場所をあためない</p> <ul style="list-style-type: none">● 低温やけどの原因になります。◎ 皮膚の弱い方は、特に注意する。 <p>禁止</p>	 <p>就寝中は、使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 火災の原因になります。 <p>禁止</p>
 <p>水位表示の「満水」以上給水しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 排水口から水が漏れたり、スチーム吹出口から熱湯が飛び散るなどして、やけどの原因になります。 <p>禁止</p>	 <p>スチーム吹出口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電・火災の原因になります。 <p>禁止</p>
 <p>使用中や使用後しばらくは、本体、ガード、スチーム吹出口、反射板に手や顔を近づけたり、触れない</p> <ul style="list-style-type: none">● やけどの原因になります。◎ 特に乳幼児には、触らせないように注意する。 <p>接触禁止</p>	 <p>持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体やガードが十分冷めてからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none">● やけど・ショート・感電の原因になります。◎ 十分冷めるまで持ち運ばない。 <p>指示に従う</p>

■ お手入れ・保管について

 <p>お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none">● やけど・ショート・感電の原因になります。 <p>プラグを抜く</p>	 <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電の原因になります。 <p>ぬれ手禁止</p>
 <p>排水やお手入れのときは、本体、ガード、スチーム吹出口、反射板が十分冷めてからおこなう</p> <ul style="list-style-type: none">● やけどの原因になります。 <p>指示に従う</p>	 <p>本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電・火災の原因になります。 <p>水ぬれ禁止</p>
 <p>各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹きつけない</p> <ul style="list-style-type: none">● 本体内部にガスが滞留するなどして、爆発・火災の原因になります。● 変色・変質・破損の原因になります。 <p>禁止</p>	 <p>水タンクのお手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">● 有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。 <p>禁止</p>
 <p>各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹きつけない</p> <ul style="list-style-type: none">● 本体内部にガスが滞留するなどして、爆発・火災の原因になります。● 変色・変質・破損の原因になります。 <p>禁止</p>	 <p>包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する</p> <ul style="list-style-type: none">● 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして、窒息の原因になります。 <p>指示に従う</p>

注意

■ 電源コード・電源プラグについて

 <p>電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない</p> <ul style="list-style-type: none">● ショート・感電・火災の原因になります。◎ 必ず電源プラグを持って引き抜く。 <p>禁止</p>	 <p>電源コードを持って本体を引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none">● 設置場所が傷ついたり、ショート・感電・火災の原因になります。 <p>禁止</p>
--	---

⚠ 注意

■ 設置について



油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない

禁止

- 変質・変形・感電・火災の原因になります。



直射日光が当たる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具など）の近くに設置しない

禁止

- 変質・変形・火災の原因になります。

■ 使用について



業務用には使用しない

禁止

- 無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。



犬や猫などがいる部屋で使用するときは、十分注意する

指示に従う

- 本体や電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。
- ◎犬や猫などの暖房に使用しない。



水タンクに水が入っていない状態で、加湿機能（スチーム運転）を使用しない

禁止

- 故障・火災の原因になります。



水タンクにお湯（40℃以上）、氷水、汚れた水、化学薬品、芳香剤、アロマオイルを入れて使用しない

禁止

- 健康を害したり、破損・故障・ふきこぼれの原因になります。
- ◎必ず水道水を使用する。



使用しないときや凍結のおそれがあるときは、水タンクの水を排水しておく

指示に従う

- カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水タンクが割れて、水漏れや故障の原因になります。



はじめて使用するときは、十分換気をする

指示に従う

- はじめて使用するときは、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。
- ※においや煙は、使用にともない出なくなりますが、においや煙が出たときは換気扇を回したり、窓を開けるなどして十分換気をおこなってください。



加湿機能（スチーム運転）を室内の加湿用途以外で使用しない

禁止

- 故障・感電・火災の原因になります。



水タンクの水は、毎日新しく入れ替える

指示に従う

- カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。



落としたり、強い衝撃を与えない

禁止

- 破損・故障・けがの原因になります。



持ち運ぶときは、取っ手を持ってベース底部を支える

指示に従う

- 破損・故障・けがの原因になります。
- ◎使用中に持ち運ばない。

■ お手入れ・保管について



お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しない

禁止

- 傷・変質・破損の原因になります。
- ◎お手入れは、10～12ページの「お手入れと保管」を参照する。



本体に腰かけたり、重いものをのせない

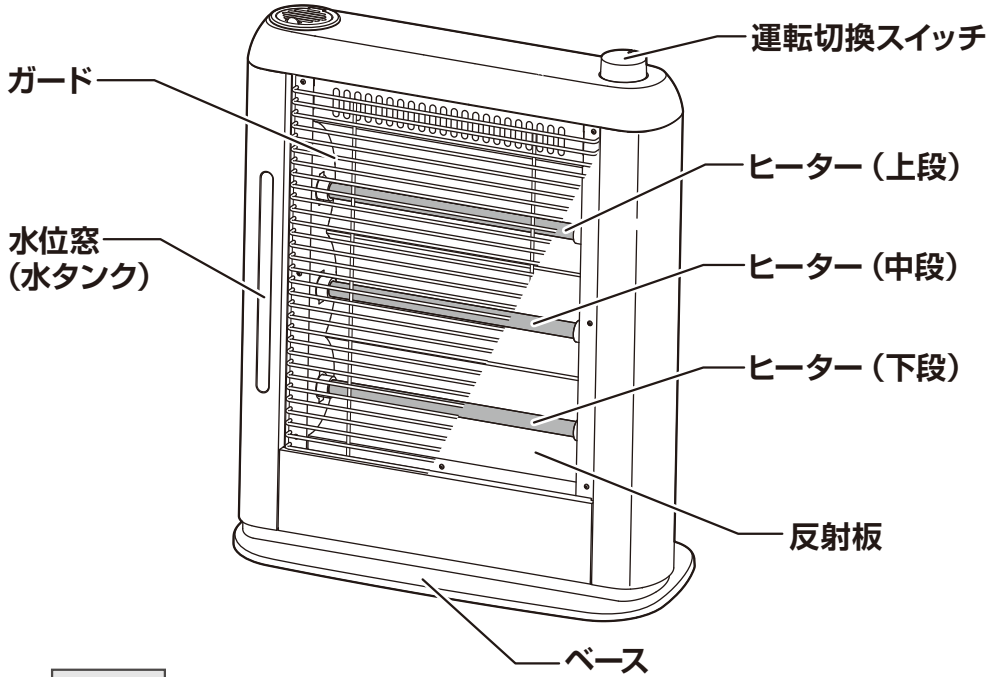
禁止

- 破損・故障・けがの原因になります。

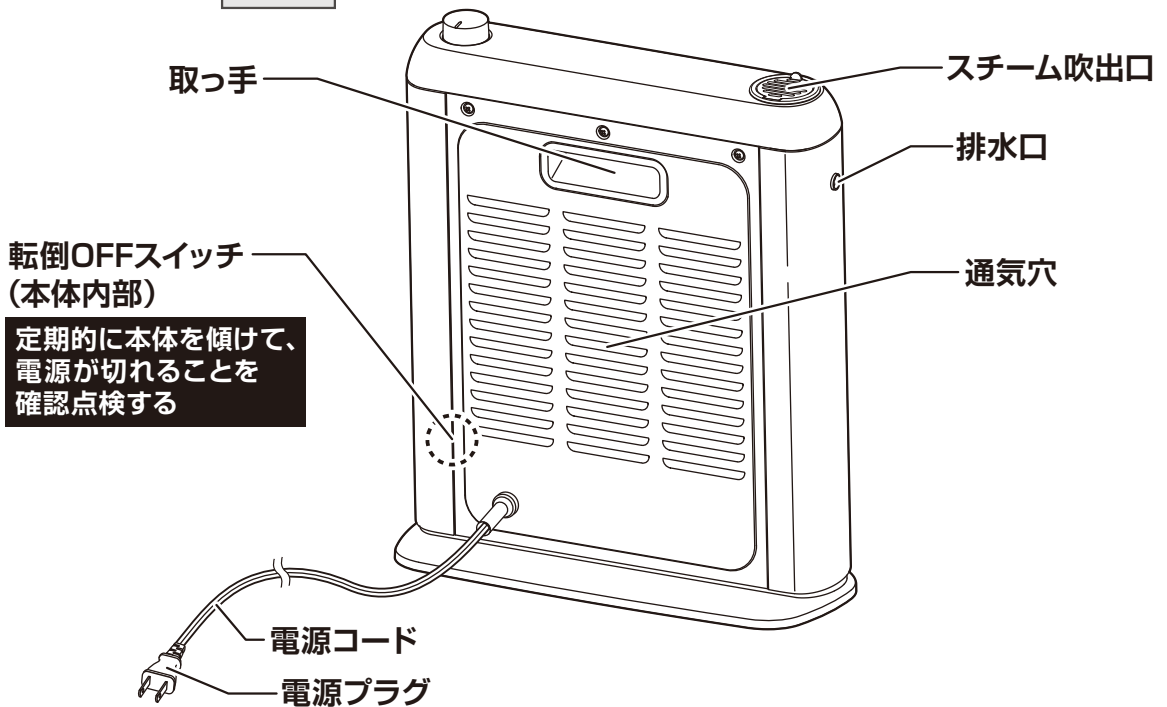
各部の名称

本体

前面



背面



●本書は、イラストを用いて説明しています。
実際の製品とは、多少異なることがあります。

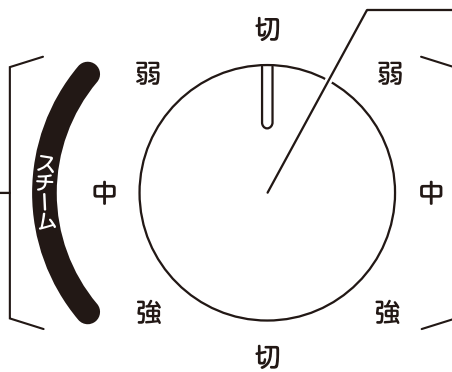
■お知らせ 加湿機能検査のために使用した水が、製品に付着している場合がありますが、品質やご使用上、影響はありません。気になる場合は、ゆすいだり、ふき取ってください。

各部の名称

操作部

**ヒーター
+
スチーム運転側**

ヒーターとスチームで
運転するときは、
こちら側に合わせます。



運転切換スイッチ

ヒーター運転側

ヒーターのみで運転するときは、
こちら側に合わせます。

設置について

下記の距離を離して設置します。

警告



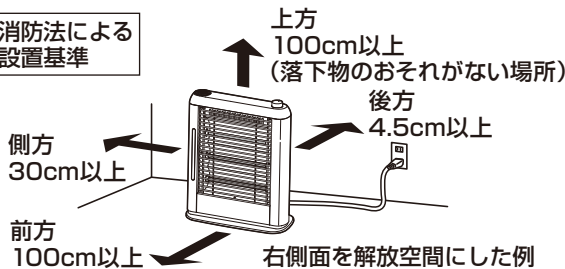
壁や家具から離して設置する

●火災の原因になります。

指示に従う

○下記の距離を離して設置する。

消防法による
設置基準



※左右側のどちらか一方は、壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。



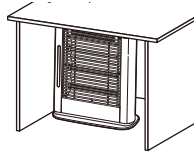
不安定な場所や毛足の長い敷物の上に設置しない

●落下や転倒して、やけど・火災の原因になります。

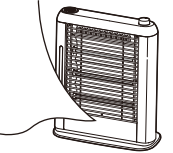
禁止

○安定した水平な場所に設置する。

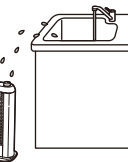
こんな場所には設置しない



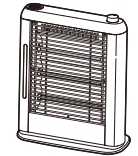
周囲が囲まれて
風通しが悪い場所



燃えやすいものや熱に
弱いものが周辺にある
場所や、熱に弱い床材
や敷物の上



水や蒸気が本体に
かかる場所や湿気
の多い場所



可燃性ガスや引火性
のものがある場所や
スプレー缶の近く

知っておいていただきたいこと

においや煙について

●はじめて使用するときには、においや煙が出ることがありますが、故障や異常ではありません。

※においや煙は、使用にともない出なくなりますが、においや煙が出たときは換気扇を回したり、窓を開けるなどして十分換気をおこなってください。

運転時の音について

●運転開始からしばらくの間は、カンカンと音がすることがありますが、ヒーターの熱による金属の膨張音で、故障や異常ではありません。

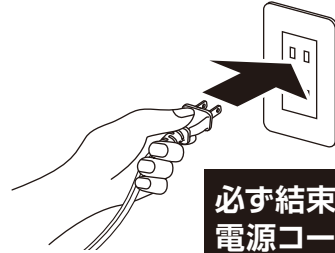
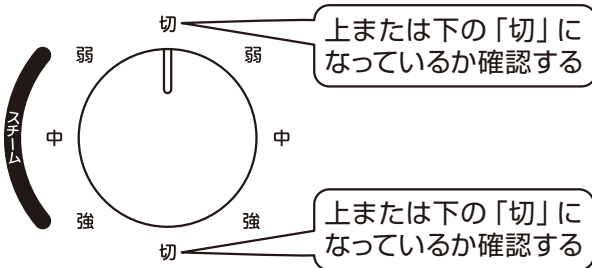
電源コードについて

●使用中電源コードが多少あたたかくなることがありますが、支障ありません。

使いかた

電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込む

- 運転切換スイッチが「切」になっているのを確認して、電源プラグを根元まで確実に家庭用コンセント (AC100V) に差し込みます。



必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす

⚠ 警告



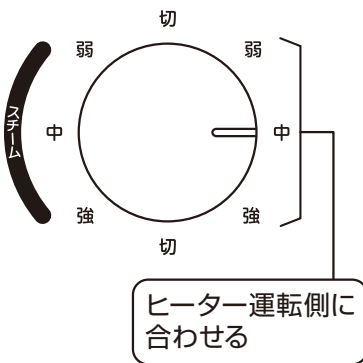
家庭用コンセント (AC 100V、定格15A以上) を単独で使用する

指示に従う

- 家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用すると故障したり、延長コードやタコ足配線で定格を超えるとコンセントが異常発熱して、火災の原因になります。

運転する (ヒーター運転)

ヒーター運転するときは



- 運転切換スイッチをヒーター運転側の「弱」、「中」、「強」のいずれかに合わせると、ヒーターが点灯します。

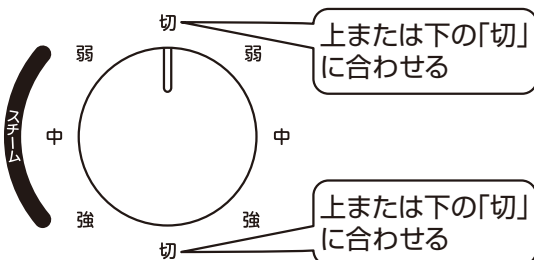
絶対に就寝中は使用しない 火災の原因になります

運転切換スイッチ	運転状態
切	すべて消灯 (電源切)
弱	ヒーター中段 点灯 (330W)
中	ヒーター上段・下段 点灯 (660W)
強	ヒーター上段・中段・下段 点灯 (990W)

注意

※ヒーターのみで運転するとき (スチーム運転しないとき) は、安全のため運転切換スイッチを必ずヒーター運転側に合わせてください。
故障・火災の原因になります。

運転を停止する (電源を切る) ときは



- 運転切換スイッチを上または下の「切」に合わせます。
- ヒーターがすべて消灯して、電源が切れます。

使いかた

運転する（ヒーター＋スチーム運転）

加湿機能

水タンクに給水する

- 運転切換スイッチが「切」になっているのを確認します。
- 注ぎ口のある容器に水を入れ、スチーム吹出口を開けて給水します。
- 給水後にスチーム吹出口を閉めます。

スチーム吹出口

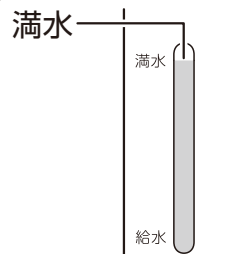


水位窓 (水タンク)

注意

- ※ 給水するときは、少しずつ水を注いでください。一度にたくさんの水を注ぐと表面張力により、水が注ぎにくいことがあります。水が注ぎにくいときは、本体を軽くゆすると注ぎやすくなります。
- ※ 運転中に給水するときは、運転切換スイッチを「切」にして、本体が十分冷めてからおこなってください。運転しながら給水すると、やけどの原因になります。
- ※ 給水後は、必ずスチーム吹出口を閉めてください。開けたままスチーム運転をすると熱湯が飛び散り、やけどの原因になります。

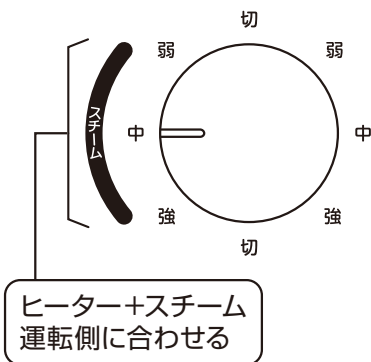
水タンクに水が入っていない状態で、絶対にスチーム運転しない



**必ず水道水を入れる
満水以上給水しない**

ヒーター＋スチーム運転するときは

- 運転切換スイッチをヒーター＋スチーム運転側の「弱」、「中」、「強」いずれかに合わせるとヒーターが点灯して、スチーム運転を開始します。



運転切換スイッチ	運転状態
切	すべて消灯 (電源切)
弱＋スチーム	ヒーター中段 点灯＋スチーム (375W)
中＋スチーム	ヒーター上段・下段 点灯＋スチーム (705W)
強＋スチーム	ヒーター上段・中段・下段 点灯＋スチーム (1035W)

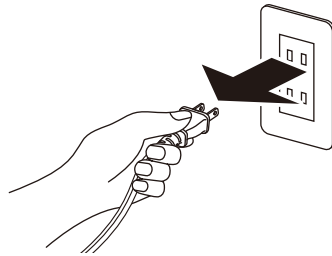
スチーム運転についてのお知らせ

- この加湿機能は、ヒーターで水を加熱して沸騰させたスチームで加湿するため、スチームが発生するまでに多少の時間がかかります。また運転中は沸騰音がしますが、故障や異常ではありません。
- 室温が高かったり、湿度が低いなどの使用環境によっては、スチームが空気中に気化しやすくなるなどで、使い始めや運転中にスチームが見えにくいことがあります。
- この加湿機能は、補助的なもので部屋全体を加湿するためのものではありません。

使いかた

使用後は

- 運転切換スイッチを「切」に合わせます。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 本体、ガード、スチーム吹出口、反射板が十分冷めてから、10～12ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。
 - ※ 使用後しばらくは、本体、ガード、スチーム吹出口、反射板が高温になっていますので、十分冷めてからお手入れをおこなってください。
 - ※ スチーム運転をおこなったときは、本体が十分冷めてから排水してください。
 - ※ 水アカ固着防止のため、定期的に水タンクのお手入れをおこなってください。



電源プラグを
コンセントから抜く

水が凍結するおそれがあるときは

- 水タンク内の水が凍結するおそれがあるときは、水タンクの水を排水しておきます。
 - ※ 万一凍結したときは、熱湯を入れたりしないで常温で自然に溶かしてください。

安全装置について

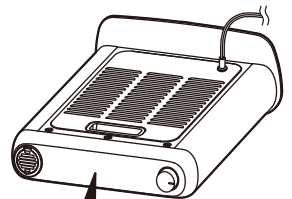
- 運転中に本体が大きく傾いたり、転倒したときの安全装置として転倒OFFスイッチが内蔵されています。
 - 転倒OFFスイッチが働くと、電源が切れます。
 - ※ 転倒したときは、必ず運転切換スイッチを「切」にしてください。
 - 再度運転をするときは、本体を安定した水平な場所に立ててから運転します。

お願い

※ 定期的に本体を傾けて、電源が切れることを確認点検してください。(転倒OFFスイッチの動作確認)

お知らせ

● 本体内部からコトコトと音がすることがありますが、転倒OFFスイッチの動作音で故障や異常ではありません。



通電が遮断され
電源が切れます

お手入れと保管

反射板が汚れたり、通気穴がホコリなどで目詰まりすると、暖房性能低下や火災の原因になります。

※こまめにガードを取り外して、お手入れをしてください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

警告



プラグを抜く

お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

● やけど・ショート・感電の原因になります。



指示に従う

排水やお手入れのときは、本体、ガード、スチーム吹出口、反射板が十分冷めてからおこなう

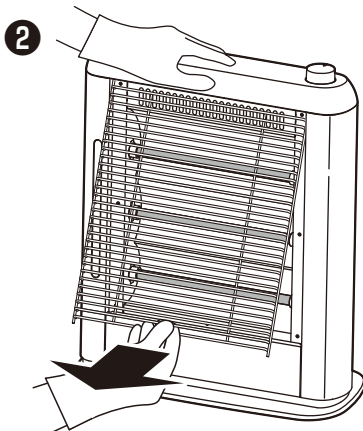
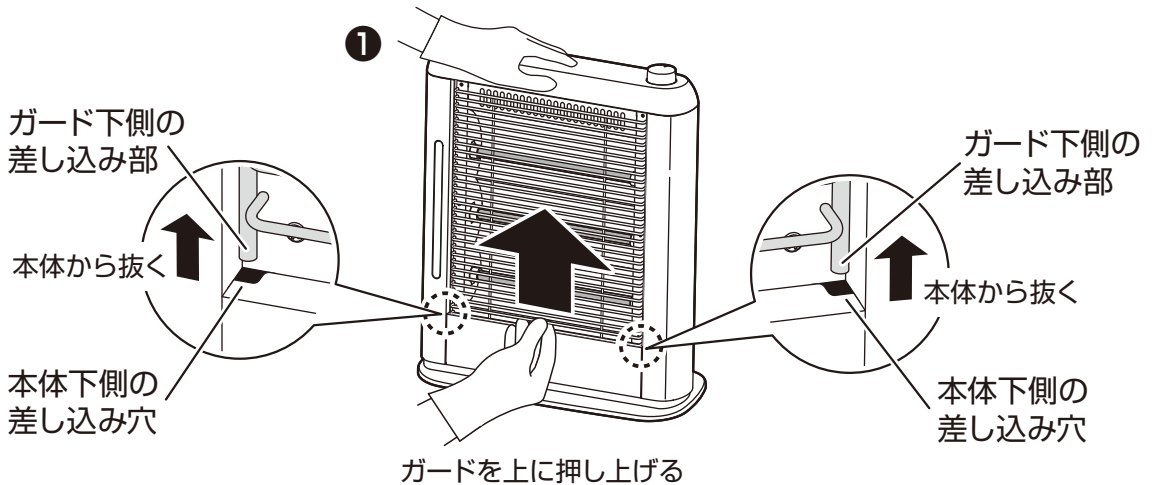
● やけどの原因になります。

必ずお守りください

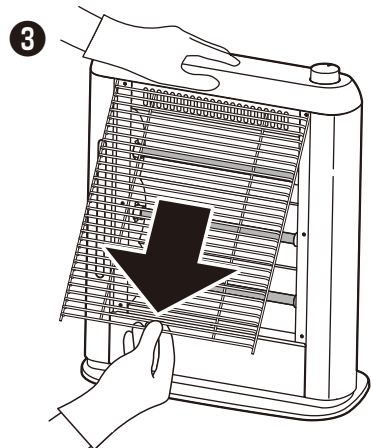
※ガードを取り外したり、取り付けたり、お手入れをするときは、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜いて、十分冷めてからおこなってください。

ガードの取り外しかた

- ① 本体を押さえてガードを上押し上げ、ガード下側を本体から抜きます。
- ② ガード下側を手前に引きます。
- ③ ガードを斜め下に引き抜いて取り外します。



ガード下側を手前に引く

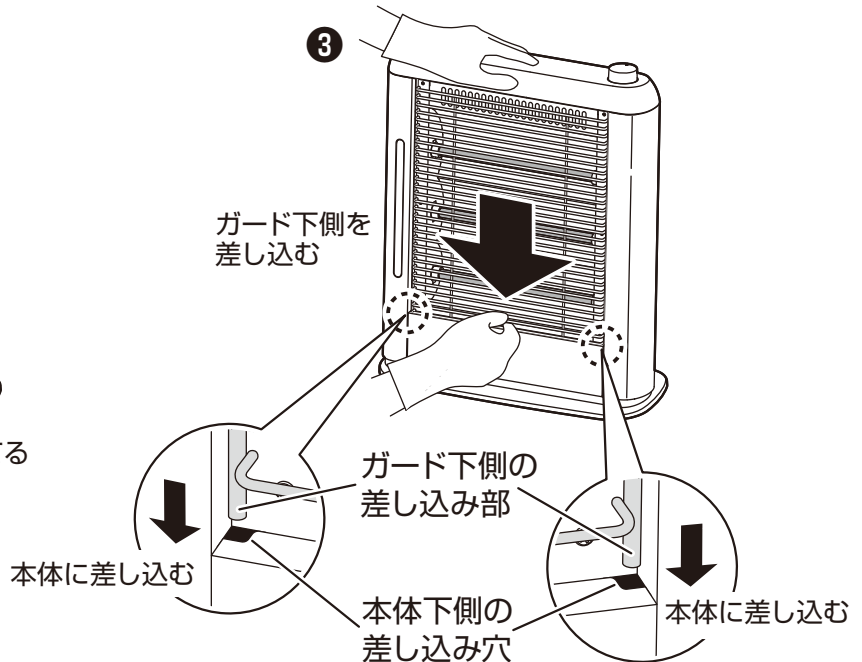
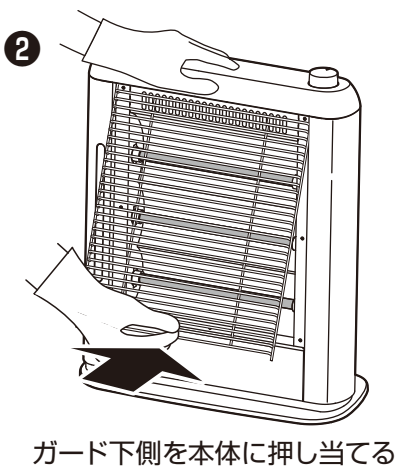
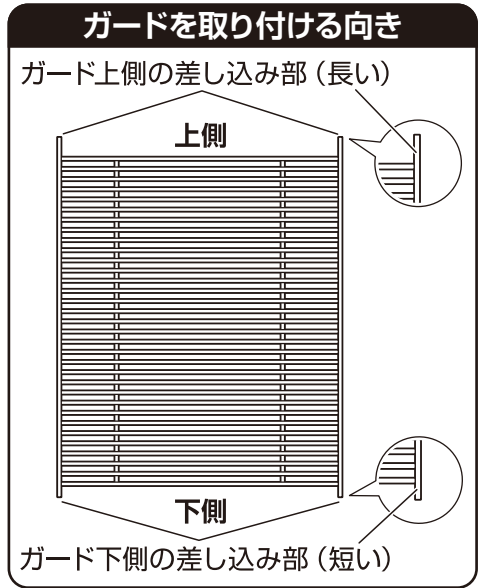
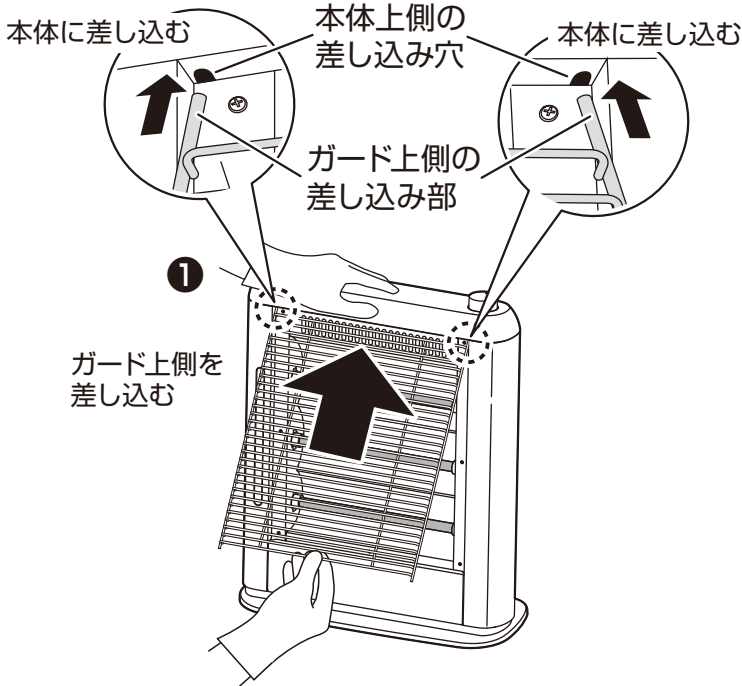


ガードを斜め下に引き抜く

お手入れと保管

ガードの取り付けかた

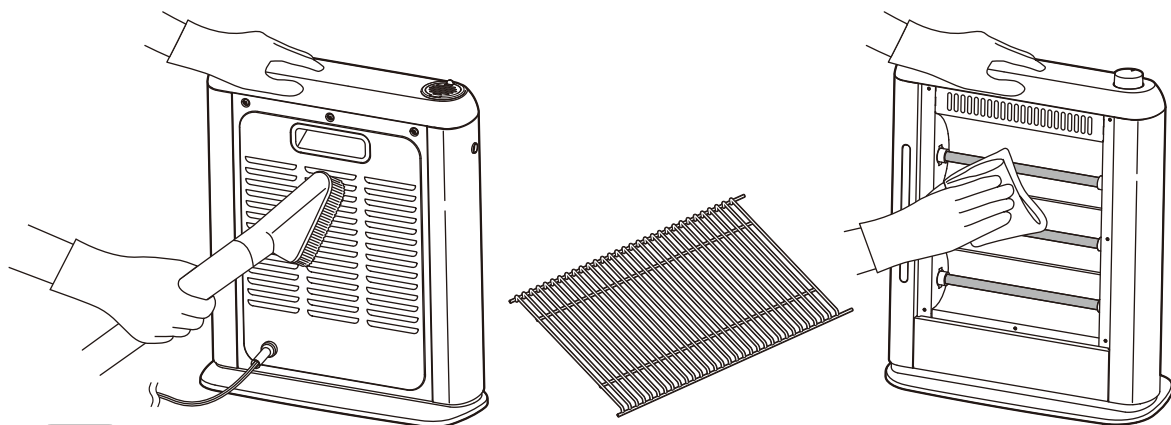
- ① 本体を押さえてガード上側を、本体上側に差し込みます。
※ガードは取り付けの向きがありますので、右下図を参照して向きを合わせてください。
- ② ガード下側を本体に押し当てます。
- ③ ガード下側を本体下側に差し込み、一番下のガード(ワイヤー)が本体にあたるまで、ガードを下げて取り付けます。



お手入れと保管

本体、ガード、反射板、ベース (1カ月に1回程度) 丸洗いできません

- 通気穴のホコリは、掃除機のソフトブラシで吸い取ります。
- 乾いた柔らかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



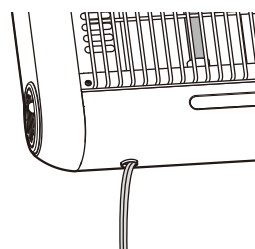
注意

- ※ ガード、反射板、通気穴は、ホコリの付着具合によってお手入れの回数を増やしてください。
ホコリの付着が多くなると、火災の原因になります。

水タンク (1週間に1回程度)

丸洗いできません

- 水タンクに水が残っているときは、本体を傾けて排水口から排水します。
- 水位窓の1/3程度まで水タンクに水を注いでゆすぎ洗いをしたあと、本体を傾け排水口から排水します。
(2~3回ゆすぎ洗いを繰り返します)



保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

お願い

- ※ 電源コードの根元を曲げたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕 様

電 源	AC 100V (50-60Hz共用)
消 費 電 力	990W (スチーム使用時:1035W)
製 品 寸 法(約)	幅:365mm×奥行:160mm×高さ:445mm
製 品 質 量(約)	2.4kg
コ ー ド 長(約)	1.6m
スチーム発生装置	加熱式(消費電力:45W) 水タンク容量:約470mL(満水位置まで)
発 熱 体	石英管ヒーター 3本
安 全 装 置	転倒OFFスイッチ サーモスタット(空だき防止機能)※水が無くなるとスチーム用ヒーターOFF

●製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

■ 電気代について

弱(330W) 運転時:1時間あたり 約10.3円(スチーム使用時は 約11.7円)

中(660W) 運転時:1時間あたり 約20.5円(スチーム使用時は 約21.9円)

強(990W) 運転時:1時間あたり 約30.7円(スチーム使用時は 約32.1円)

(電気代は、電気料金目安単価 31円/kWhを基に算出しています)

故障かな?と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグを根元まで確実に家庭用コンセント(AC100V)に差し込んでください。
	●運転切換スイッチが「切」になっていませんか?	●運転切換スイッチをお好みの位置に合わせてください。
スチームが出ない	●水タンクに水が入っていない状態ではありませんか?	●電源を切り電源プラグを抜いて、本体が十分冷めてから水タンクに給水してください。
	●運転切換スイッチをヒーター運転側に合わせていませんか?	●運転切換スイッチをヒーター+スチーム運転側に合わせてください。
運転中に電源が切れる	●転倒OFFスイッチが働いていませんか?	●運転中に本体が大きく傾いたり、転倒すると転倒OFFスイッチが働いて電源が切れます。再度運転をするときは、本体を安定した水平な場所に立ててから運転してください。
カンカンと音がする	●ヒーターの熱による金属の膨張音ではありませんか?	●運転開始からしばらくの間は、カンカンと音がすることがありますが、ヒーターの熱による金属の膨張音で、故障や異常ではありません。
コトコトと音がする	●転倒OFFスイッチの動作音ではありませんか?	●本体内部からコトコトと音がすることがありますが、転倒OFFスイッチの動作音で故障や異常ではありません。

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
- 電源プラグが変形している。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転切換スイッチを合わせても運転しないことがある。
- ヒーター管が破損している。
- 本体が変形や破損している。
- 異常な音がする。
- 本体に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 本体が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
- その他の故障・異常がある。

- 電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、
電源プラグをコンセント
から抜いて、必ず販売店
に点検・修理を依頼して
ください。

ホコリやごみを取り除いて
ください。

アフターサービスについて

●本製品は、保証書が付いています。

お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年です。

保証期間中の修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。

保証書の記載内容により、修理いたします。
その他詳細は、保証書を参照してください。

●保証期間経過後の修理（有料）については、お買い上げの販売店に、依頼してください。

●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。

●サービスパーツについて

ガードなどのサービスパーツについては、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取り扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでの  お問い合わせは  0120-680-287

●Eメールでの  お問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

S-230601